

週刊

愛知民報

2022年
11月6日
第2608号

発行所 **日本共産党愛知県委員会**
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
☎(052) 261-3461 (代表)
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

名古屋駅前に小池書記局長



県議予定候補・前県議 (名古屋市西区)

豊橋駅前に志位委員長



県議予定候補・前県議 (豊橋市)

わしの恵子

しもおく奈歩

来年4月9日投開票の見通しで、統一地方選挙前半戦の愛知県議選、名古屋市議選がおこなわれます。後半戦は4月23日投開票が想定されています。日本共産党は、議席占有率の増大、議案提案権の獲得、空白議会の克服を掲げ選挙準備に全力をあげています。特に愛知県は全国唯一、県議会に共産党議席を持たない県であり、その空白克服に力を入れています。10月19日には豊橋駅前で志位和夫委員長が、しもおく奈歩前県議を、同月26日には名古屋駅前で小池晃書記局長が、わしの恵子前県議を押し上げる街頭演説をしました。豊橋駅前では東三河の地方議員・予定候補者が紹介されました。また、名古屋駅前では名古屋市議予定候補が紹介され、田口かずと市議団長が演説しました。しもおく氏とわしの氏の訴えの一部を紹介します。

共産党県議復活を

しもおく奈歩氏

若者支援

しもおく奈歩氏は、豊橋駅前のシールアンケートで「友だちがバイトをしながら大学に通っていた。もしも半額だったら学ぶことに集中することができた」という切実な声を紹介しました。しもおく氏は「愛知県独自に返さなくていい給付型奨学金を実現させたい」と述べました。

看護師確保を

しもおく氏は、中小病院の看護師確保に貢献していた「看護師修学貸付金」制度を県が

ジェンダー平等

ジェンダー格差の問題では、性暴力被害者の声を直接聞いて県議会ですべて質問し、相談先を記載した名刺サイズのカードを高校生に配布することを実現した。廃止したことを批判。また自民党県議の「同性婚否定発言」について、「差別であり許せない。県議会に多様な声が届くように女性の議員を増やす」と述べました。

公共交通充実

高齢で運転免許を返納しても通院や買物に困らないように市町村への補助を増やし、コミュニティバスや乗り合いタクシーなど地域公共交通を充実することを訴えました。

わしの恵子氏

学校改修

わしの恵子氏は、本会議での初質問で追及し、老朽化していた県立高校のトイレの改修予算が付いた実績を述べました。

わしの氏は「県立高校の視察で校長から『学校のトイレがいやでコンビニに走る予もある』と言われました。トイレは全て和式で扉はベニア板がギザギザ、ボロボロで驚きま

補聴器購入助成

わしの氏は、軽度・中等度の難聴児をもつ母親から「成長とともに買い替えが必要で片耳5万円は大変」とい声を聞き、所属の健康福祉委員会、母親に意見陳述をしてもらった経緯を紹介。

わしの氏は「助成制度がないのは、愛知県と大阪府、神奈川県だけ、ぜひ購入助成を」と要求。その後、実現の運びとなり本当に喜ばれています」と述べました。

庄内川改修推進

わしの氏は2000年の東海豪雨で甚大な浸水被害を受けた西区の災害対策について、「庄内川の流下能力を向上させ被害を小さくするために庄内川枇杷島橋、JR東海道線新幹線の3本の橋の架け替え工事が発表され、2030年度が完成期限です。しかし、まだ、県道枇杷島橋の工事が始まっているだけ」と指摘。鉄道橋の架け替え推進を訴えました。



中川区 南區 港区 緑區 天白區 昭和區 守山區 名東區 千種區 東區 中區 西區 北區
えがみ博之 高橋ゆうすけ 山口きよあき みつなか美由紀 田口かずと 柴田たみお くれまつ順子 鈴木あやこ 酒井ケンタロー むらせ和弘 石原あいこ 加藤ゆうき 岡田ゆき子

名古屋市議予定候補
10月31日現在決定分